

フレッド・バーカー氏 (Fred Barker)



原子力政策アナリスト、英国放射性廃棄物処分委員会 委員

1957年2月27日 イギリス イプスウィッチ生まれ〔国籍；イギリス〕

1979年 オックスフォード大学卒

1981年 マンチェスター大学院卒

英国放射性廃棄物処分委員会(英国政府の指名した独立委員会)の委員。

原子力・核燃料サイクルに関する経済性評価の権威。

放射性廃棄物処分に関わる関係者間の対話と取り組みに関する専門家。

1990年に独立して原子力政策アナリストとして活躍。

NGO や企業、地方自治体や英国政府に対するコンサルティングを展開している。

【政府のアドバイザー機関】

1988～1990年： 放射能事故監視調整委員会委員 (RIMCC)

1998～2004年： 英国放射性廃棄物処分アドバイザー委員会委員 (RWMAC)

2001～2002年： RWMAC/NuSAC 共同会議、

ILW 中間管理ワーキンググループ議長

2003年～ 放射性廃棄物処分委員会とワーキンググループ委員(CoRWM)

【公的活動、関係者間会合】

1998年～ BNFL 国内関係者間会合、プルトニウム、ビジネス、
評価運営、調整グループ

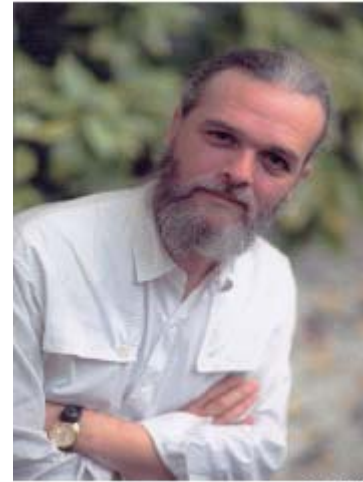
2001年～ ISOLUS (MoD), コンサルティング運営グループ、PASCALEA
(AWE Aldermaston) and Dounreay Particles BPEO
(UKAEA).

2002年～ DTI と契約「関係者間対話問題と Nuclear Decommissioning
Authority」

2003～2004年： ISOLUS コンサルティング運営グループ、
第2期コンサルテーション評価

2004年～ CoRWM's の公的対話、関係者間対話ワーキンググループ

マイケル・シュナイダー氏 (Mycle Schneider)



© AFP

国際エネルギー・コンサルタント、科学作家

1959年3月7日 ドイツ ケルン生まれ〔国籍；ドイツ〕

独学で、原子力、エネルギー、環境問題等を学び、その方面のジャーナリスト・コンサルタントとなる。

また多くの出版物を執筆する科学作家でもある。核拡散・安全・保障、そして環境とエネルギー計画に関する問題分析について数多く執筆している。

1983～2003年： エネルギー情報サービス WISE-Paris 代表および Web 出版の
プルトニウム・インベスティゲーション
([Www.pu-investigation.org](http://www.pu-investigation.org)) の編集長を務める。
高木市民科学基金委員。

1998～2003年： フランス環境大臣室、ベルギーのエネルギー持続可能開発大臣のアドバイザーを務める。

2000年～： ドイツ環境省の原子力問題コンサルタントを務める。1997年、国際MOX評価研究で「もう一つのノーベル賞」といわれるライト・ライブリフッド賞を受賞。

飯田 哲也 氏 (いいた てつなり)

NPO 法人 環境エネルギー政策研究所 所長

日本総合研究所 主任研究員 (環境エネルギー政策)

1959年1月8日 山口県 徳山市 生まれ

京都大学大学院工学研究科修士課程原子核工学終了

東京大学大学院先端工学際工学博士課程単位取得満期退学

(株)神戸製鋼所にて原子力政策研究に従事

(財)電力中央研究所にて原子力政策研究に従事

ルンド大学 (スウェーデン) にて環境エネルギー政策研究に従事

【政府委員】

- ・ 経済産業省総合エネルギー調査会新エネルギー部会 (1999年12月～)
- ・ 経済産業省総合エネルギー調査会総合部会 (2000年4月～)
- ・ 中央環境審議会地球環境部会 (2001年2月～)
- ・ 環境省国立・国定公園内における風力発電施設設置のあり方に関する検討会 (2002年8月～)

【地方委員】

- ・ 長野県地球温暖化検討会 (2002年8月～)
- ・ 東京都環境審議会 (2002年12月～)

【学会等役職】

- ・ European Network for Energy Research (2000年4月～)
- ・ 国際バイオマス学会科学委員会委員 (2003年10月～)